

# 東京ヤクルトスワローズ 春季キャンプ

## in 浦添市

問い合わせ  
商工産業課(内線3166)

日本一を目指して、  
春季キャンプ開始!

2月1日(日)から26日(木)、浦添市民球場で東京ヤクルトスワローズの春季キャンプが行われました。同球団の春季キャンプが行われるのは、今年で16回目となります。憧れのプロ野球選手を目見ようと球場には県内外から多くの野球ファンが訪れ、連日多くの報道陣も詰め掛けました。

歓迎!  
東京ヤクルトスワローズ

キャンプ初日の2月1日(日)9時30分から歓迎式が行われ、真中監督の今シーズンに向けた抱負が述べられ、てだこレディより花束の贈呈がありました。



▼今シーズンは「日本一を目指す」と抱負を語る真中監督

▲てだこレディより花束を受け取る真中監督と盛岡選手

キャンプスケジュール  
キャンプ日程

練習は、通常10時に始まり15時までですが、日によって異なります。またキャンプ中は、4〜5日間の練習の後、1日の休みといったスケジュールでした。  
2月15日(日)以降はほぼ毎日練習試合が組まれ、韓国プロ野球チームや阪神タイガース、日本ハムファイターズと対戦しました。

浦添・沖縄の特産品を

2月3日(火)に行われた陣中見舞いでは、浦添市でキャンプをする選手たちへオリオンビールやブルーシールアイスクリームなど、数多くの沖縄県産品が贈られました。



▲陣中見舞いで特産品を受け取る真中監督

東京ヤクルトスワローズ  
交流会

1月30日(金)に東京ヤクルトスワローズ浦添協力会が主催する「東京ヤクルトスワローズ交流会」がホテル日航那覇グランドキャッスルで行われました。  
交流会には、選手たちと身近に接することができるということで多くのファンが集まり、参加者はおいしい料理と沖縄の芸能を堪能しつつ、選手との交流を楽しみながらキャンプの成功とシーズンを通しての活躍にエールを送っていました。

グラウンドではいつも真剣な姿を見せている選手たちも、ゆったりとリラックスした表情で気軽にサインや記念撮影に応じ、ファンとの交流を楽しんでいました。

メインイベントとして、ヤクルトスワローズ主力選手の直筆サイン入りグッズが当たる抽選会が行われ、くじを2014年てだこレディの3人が引きました。グッズが当たったファンはとても喜んでいました。

盛りだくさんの内容となった東京ヤクルトスワローズ交流会。選手とファンの絆が繋がった1日となりました。



▲ファンにサインを求められる成瀬選手



▲抽選会にて由規選手のバットが当選



▲オンドルセク選手と記念撮影

## スワローズを追いかけて40年! 北海道から応援に来ました!

「以前、北海道出身の若松前監督と同じ職場でした。それがきっかけでヤクルトスワローズのファンになりました」と話す小柳悦子さん。なんと、40年間ずっとヤクルトスワローズのファンだということなんです。北海道からヤクルトスワローズの応援のために沖縄に来るのは5回目。娘の山本綾さん、孫の山本莉々ちゃんと3代でヤクルトスワローズの日本一を願った。熱い声援を送っていました。

「期待している選手は誰ですか?」

荒木大ちゃん大好き!あと、石川投手です。昨シーズン2ケタ勝利の好成績を残してもらえたので、今シーズンも活躍してチームの日本一に貢献してもらいたいです。(小柳悦子さん)

同じ北海道出身の杉浦選手に活躍してもらいたいです!あと、現在ケガでリハビリ中の館山選手。無理はしないで、ゆっくりと回

復して復帰してほしいです。(山本綾さん)

バレンティン選手が好きです!今年もたくさんホームランを打ってほしいです。1000本ぐらい打ってくれるかな? (山本莉々ちゃん)

「ヤクルトスワローズに応援のメッセージをお願いします」

がんばれ!ヤクルトスワローズ!真中監督の指揮の下でヤクルトスワローズを日本一に導いてくれ!!期待しているぜ!!(三人)



小柳悦子さん(右)  
山本莉々ちゃん(右)  
山本綾さん(左)

## 東京ヤクルトスワローズと 「少年野球教室」

春季キャンプ中の2月8日(日)、東京ヤクルトスワローズ浦添協力会主催による少年野球教室が浦添市民球場で開催されました。プロ野球選手に直接バッティングやピッチングを指導してもらえる、またとない機会とあって、参加した浦添市内の野球チームの子どもたちは、とても緊張した表情を見せながらも、楽しそうに指導を受けていました。

バッティング練習では飯原選手のトスを受け、バッティングフォームの指導を受けており、最後には西田選手がバッティングを披露していました。西田選手の打った打球が外野フェンスを越えると、子どもたちから歓声が上がり、みんな興奮した様子でした。

今回プロの選手から指導を受けた子どもたちにとっては、生涯忘れられない日となり、これからの練習をより熱心に取り組むと思います。将来プロ野球選手になった時は、また次の世代へと野球に対する熱い思いを引き継いでいきたいと思います。



▲ピッチングの指導を受ける様子



▲バッティングのフォームを教わる様子



▲内野手の守備を教わる様子